



THE SERVICE CLUB FOR THE YMCAs

CHARTERED IN 2010

長野ワイズメンズクラブ 会報

2018年

1月 第86号

THE Y'S MEN'S CLUB OF NAGANO

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS



2017~2018年度主題

国際会長主題「国境なき友情」“Fellowship across the Borders”

アジア会長主題「ワイズ運動を尊重しよう」“Respect Y's Movement”

東日本区理事主題「広げよう ワイズの仲間」

あずさ部部長主題「楽しもうよ 仲間とともに」

長野クラブ会長 「今できることをなんとかやってみよう」



今月の仏句

原子経典において「自己を知る者」であらねばならぬと言うことが力説されており、宗教的实践によって自己を知るのである。『わたくしは信仰について、戒行について、学問について、捨離について、知恵について、理解力について、これだけ達している。』と反省して知ることである。

増支部Ⅳ 福島貴和Y's 撰

1月 例会案内

日時 2018年1月17日(水)

6:30pm~8:30pm

会場 レストランやま 司会 福島Y's

1. 開会点鐘 会長
2. ワイズソング、ワイズの信条
3. 今月の仏句 福島Y's
4. 会長あいさつ 会長
5. ゲスト紹介 会長
6. 報告
7. 卓話
Green Lab 代表 河西弘明さん
キッズ生ごみ農園クラブの活動
8. ワイズディナー
自由トーク
9. ハッピーバースデー
(10日青山Y's 14日江守Y's
28日塩入Y's)
10. YMCAの歌
11. 閉会点鐘 会長

新たな決意

森本俊子

新年あけましておめでとうございます。

同じように時が流れているだけなのに、昨日と今日は違う年にくくられる、今年は何にか今までとは違うのだと「思い聞かせる」。何かをするにも「くぎりをつける」。そうすることによって、「どちらか」というと」という懸案事項がうやむやになったりする。そして、新たな決意というものが生まれて、前に進んでいく。

私の場合、どちらかということそんな風にして、歩んでこれました。

みなさまはいかがでしょう。そんなのんきなことは言っていられないと継続の問題に立ち向かっている方もおられましょう。次々にやってくる難題を切り抜けておられる最中の方もいらっしゃるでしょう。その時、ふと、異空間に身を置けたらと思ったりしませんか。そこから戻った時、前の悩みはいったい何だったのだろうと、解決の糸口が見つかったりします。

もし、ワイズの活動がそのような空間になってくれたら嬉しいのですが。

私はあれもこれもと手を出している人間ですが、7回目の年女を終え新たな一歩を歩みだした今年、苦しいこと、気の進まないことでもやってみよう、という気持ちになっています。投げ出さないでやれるだけチャレンジしてみる勇気が湧いてきた年頭です。そのエネルギーが生まれてきたことが不思議です。

12月データ

在籍会員 14名
例会出席者 8名 例会出席率 57%
ビジター 1名 ゲスト 3名

例会のご案内

毎月第3水曜日 (2月は21日)

18時30分から20時30分

ところ レストラン やま

連絡先 会長または書記へ

tokoton921@gmail.com (森本会長)

f69a9n@bma.biglobe.ne.jp (小林書記)

会長	森本俊子
副会長	福島貴和
書記	小林美彦
会計	倉石美津子
監査	塩入 隆
プリテン	小林美彦、堀内雅俊
担当主事	露木淳司

12月の例会報告

出席者 岩田幸雄、久保田恵子、倉石美津子、小林美彦、塚田佐、福島貴和、森本俊子、堀内雅俊

志波雅弘（ビジター） 川崎昭二（showji）さん、川崎夫人、山石好宏さん、山岸 晃さん（ゲスト）

クリスマス例会として車椅子のエレキギタリスト川崎ジョージさんをお招きして演奏を聴きました。6時半からの会のために3時から音のチェックをして準備されました。「新世界より」などの曲目を、心を込めて演奏する川崎さんは非常に繊細なミュージシャンでした。両手、両足に障害があることをどうやって克服してみえたかうかがう時間はありませんでしたが、19年前の長野パラリンピックの開会式のテーマの作曲を手掛け、演奏もされたとのことでした。4歳(?)のお子様と一緒に見えるはずでしたが、ご機嫌が悪くお留守番になってしまいました。奥様はお家と行ったり来たりで大変でした。バンド仲間の山石さんがPAの担当で、スピーカーも素晴らしい音質でした。エレキギターといってもこんなに繊細な音楽が奏でられるのだと一同聞きほれました。もっと演奏していただければよかったです。クリスマスの仕掛けが予定されていたのでほんの20分程度の演奏会でした。その後、肉団子入りの鍋や牡蠣フライの卵とじ、ピザなどのごちそうをいただきながら歓談は続きました。ひと段落したころクリスマスオークションがゲストの山岸さんの軽妙な仕切りで行われナツメ酒、東北の災害の復興祈念のウィスキー、希少価値の高い手刷りの植物画いり、植物民俗学エッセイ集などが売られました。次に青山、久保田、森本ワイズが準備に張りきったプレゼント品をくじ引き形式で全員に贈りました。ハンドチャイムで演奏しながら「きよしこのよる」を歌って閉会点鐘になりました。(森本記)



松本「アジア賞授賞式」 出席報告

12月16日、松本ワイズメンズクラブ主催の第19回私費留学生小論文コンテスト「アジア賞授賞式」に松本へ行ってきました。

今年は、15名の応募、中国9名、内モンゴル1名、韓国1名、モンゴル3名、台湾1名、の応募でした。最優秀賞は、松本大学の交換留学生（中国）でした。授賞式後のスピーチで受賞者たちが留学するに至った経緯やコンテスト応募の動機など短期間に習得した日本語を駆使して話をしていたことに対して、今後の活躍への期待と希望を感じました。交流会の席でJINRIKIのアップールもさせてもらいました。
(小林記)



YMCA だより

露木淳司

「夢を現実に！」

2018年、あけましておめでとうございます。いよいよ山梨YMCAは新会館建設に向けて大きな一歩を踏み出します。候補地が絞られてきたことを受けて、将来計画検討委員会は三つの部会に分かれて細かい詰めに入りました。事業部会では新会館で展開する事業計画について検討を進めています。0歳から100歳までの全ての世代が交わることのできる、文字通りFOR ALLを具現化するYMCA会館の実現を目指します。障がい児と高齢者への取り組みをよりトータルなものにすることと、現在の事業に加えて、外国人保育士による小規模英語保育所の開設を検討しています。総務・財務部会では建設のための資金繰りや新法人開設に向けて検討を進めます。特に75周年記念募金にはぜひとも皆さまのご支援を賜るべく十分な準備を進めていく所存です。

そして最後に控えるのは建築部会です。より多くの人に親しまれる外観と居心地の良い空間を提供すべく、前述の2つの部会での検討内容を確実に具現化すべく建築のプロが智恵を集結させます。「新会館は是非木造で」「新会館にはチャペルを」「駐車スペースは極力広く」多くの思いを一つにして確実に夢を形にしていきます。正式オープンは2020年春、そして2021年に75周年を迎えます。建設募金の目標7500万円で、5月から山梨県内外に向けて呼びかけを開始する予定です。皆さま、何とぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

これからの予定

2月10日 第2回あずさ部評議会
甲府市けんりつ図書館2階多目的ホール
2月例会第3水曜日 21日 レストランやま

クラブ会費の振込をお願いします

ワイズ会費を払うことが、ワイズ活動のボランティア参加に直結しています。

今年度前期会費(7月～12月)18000円のお振り込みをお願いします。(1年分は36000円です)

八十二銀行 昭利通営業部番号214)

普通預金 口座番号 871118

長野ワイズメンズクラブ会計

倉石美津子